

農業用ハウスの風害・雪害対策について

～農業用ハウスの点検、補強について～

1 緩みや腐食等の点検

ハウスは、ボルトナットやクサビ、ジョイントなど金具の緩みや脱落がないか点検しましょう。

また、パイプ等部材の腐食や変形、損傷や破損がないか、確認しましょう（図1）。

強風等が予想される直前に慌てて対策をとるのでなく、普段のメンテナンスを怠らないようにしましょう。

2 補強資材による強度向上

補強資材（筋交い、斜材、タイバー、中柱等）を有効な位置に取り付けることによって、ハウスの強度を高めることができます。

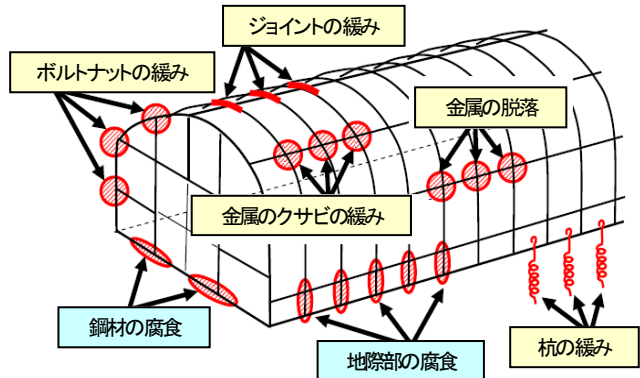


図1 農業用ハウスの点検ポイント

『施設園芸における強風対策技術導入マニュアル(静岡県)より』

<p>筋交い直間の施工 妻面からの風への耐力が 20%程度向上</p> <p>『施設園芸における強風対策技術導入マニュアル(静岡県)より』</p>	<p>斜材の施工:アーチパイプ4本おきに設置 風への耐力9%、雪への耐力 65%程度向上</p> <p>『施設園芸における強風対策技術導入マニュアル(静岡県)より』</p>
<p>タイバーの施工:アーチパイプ4本おきに設置 風への耐力6%、雪への耐力 43%程度向上</p> <p>『施設園芸における台風・強風対策マニュアル(静岡県)より』</p>	<p>中柱の施工:3m間隔で設置 雪への耐力が 25kg/m²程度向上</p> <p>『農業用パイプハウス強化マニュアル(鳥取県)より』</p>

点検と補強は、ハウスの強度を維持するための基本的な事項として継続的に実施して下さい。

- ・補強資材については、最寄りのJAおよび専門業者にご相談下さい。
- ・全農HP アピネス/アグリインフォ「自然災害・鳥獣害対策」も参考にしてください。

https://www.agri.zenoh.or.jp/N_index.aspx

(担い手支援課園芸振興班)